



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 新晃工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6458 URL <http://www.sinko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武田 昇三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員管理本部長 (氏名) 津澤 勲

TEL 03-5640-4155

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,619	10.9	2,007	△28.2	2,190	△25.1	1,222	△37.6
25年3月期第3四半期	22,201	3.3	2,797	54.6	2,923	61.5	1,960	48.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,281百万円 (6.5%) 25年3月期第3四半期 2,142百万円 (57.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	47.87	—
25年3月期第3四半期	76.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	44,001	25,162	51.2	882.39
25年3月期	41,697	23,391	50.8	829.79

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 22,536百万円 25年3月期 21,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の期末配当金の内訳 : 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	10.9	3,500	△20.8	3,700	△19.6	2,150	△33.3	84.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成26年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 千代田ビル管財株式会社 、 除外 1社 (社名) —
 (注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	27,212,263 株	25年3月期	27,212,263 株
26年3月期3Q	1,671,736 株	25年3月期	1,671,523 株
26年3月期3Q	25,540,622 株	25年3月期3Q	25,741,147 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策効果を背景として企業収益が改善するなど、景気は緩やかに回復いたしました。一方、当業界におきましては、首都圏及び関西圏の大型プロジェクトが一巡するとともに納期のずれ込みが発生するなど、一時的な弱い需要局面をむかえました。

こうした情勢のもと、当社グループは、節電・省エネルギー性と省スペースを両立させた製品の市場浸透、生産革新による品質の追求とコストダウン、各案件に対する積極的かつ戦略的な受注展開などに努めてまいりました。また、当期から新たに当社グループへ加わった子会社の安定的な事業統合に注力してまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<日 本>

当業界において一時的な弱い需要局面をむかえたものの、企業買収による増収でカバーした結果、売上高は19,598百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。利益面におきましては、受注管理の強化及びトータルコストの圧縮等の取り組みが効果を維持しているものの、需要縮小による利益の下げ幅が大きく、セグメント利益(営業利益)は1,674百万円(前年同四半期比32.4%減)となりました。

<ア ジ ア>

中国の安定成長及び為替の影響により、売上高は5,146百万円(前年同四半期比27.8%増)となり、セグメント利益(営業利益)は311百万円(前年同四半期比15.4%増)となりました。

この結果、当社グループの売上高は24,619百万円(前年同四半期比10.9%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は2,007百万円(前年同四半期比28.2%減)、経常利益は2,190百万円(前年同四半期比25.1%減)、四半期純利益は1,222百万円(前年同四半期比37.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は44,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,304百万円増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,701百万円、売上債権の減少3,647百万円、有形固定資産の増加1,505百万円及びのれんの増加1,463百万円等によるものであります。

負債は18,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ533百万円増加となりました。これは主に、仕入債務の減少860百万円及び有利子負債の増加1,177百万円等によるものであります。

純資産は25,162百万円となり、主に四半期純利益の計上及び配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ1,770百万円増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、景気の緩やかな回復傾向が続いたものの、一時的な需要の縮小及び納期のずれ込みが発生するなど当業界の市場回復までには至らず、厳しい結果となりました。平成26年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案し、平成25年5月15日に公表した数値を修正いたしました。修正後の通期連結業績予想は、売上高35,500百万円、営業利益3,500百万円、経常利益3,700百万円、当期純利益2,150百万円を見込んでおります。

なお、期末配当予想につきましては、株主の皆様へ安定配当を維持することを基本とし、業績動向を勘案しつつ積極的な利益還元を行っていく所存であり、当期収益の見通しから配当予想に変更はございません。

詳細につきましては、本日付(平成26年2月7日)で別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、千代田ビル管財株式会社の全株式を取得したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,791	8,492
受取手形及び売掛金	18,555	14,908
商品及び製品	455	579
仕掛品	485	636
原材料	649	737
その他	725	672
貸倒引当金	△583	△642
流動資産合計	27,080	25,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,283	4,704
土地	4,815	5,759
その他(純額)	919	1,060
有形固定資産合計	10,018	11,524
無形固定資産		
のれん	—	1,463
その他	480	478
無形固定資産合計	480	1,942
投資その他の資産		
その他	4,141	5,175
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	4,117	5,150
固定資産合計	14,616	18,618
資産合計	41,697	44,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,607	6,747
短期借入金	3,846	5,419
1年内返済予定の長期借入金	525	392
未払法人税等	609	147
賞与引当金	468	331
その他	1,644	2,146
流動負債合計	14,702	15,185
固定負債		
長期借入金	960	698
退職給付引当金	1,111	1,248
役員退職慰労引当金	28	30
その他	1,503	1,676
固定負債合計	3,603	3,653
負債合計	18,305	18,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,822	5,822
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	11,496	12,208
自己株式	△580	△580
株主資本合計	21,662	22,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	815
土地再評価差額金	△799	△799
為替換算調整勘定	△233	146
その他の包括利益累計額合計	△469	162
少数株主持分	2,197	2,625
純資産合計	23,391	25,162
負債純資産合計	41,697	44,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	22,201	24,619
売上原価	14,756	17,394
売上総利益	7,444	7,224
販売費及び一般管理費	4,646	5,217
営業利益	2,797	2,007
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	59	80
持分法による投資利益	46	45
雑収入	100	157
営業外収益合計	211	290
営業外費用		
支払利息	60	61
雑支出	24	46
営業外費用合計	85	107
経常利益	2,923	2,190
特別利益		
受取保険金	—	74
特別利益合計	—	74
税金等調整前四半期純利益	2,923	2,265
法人税、住民税及び事業税	772	703
法人税等調整額	99	214
法人税等合計	871	917
少数株主損益調整前四半期純利益	2,052	1,347
少数株主利益	91	124
四半期純利益	1,960	1,222

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,052	1,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	251
為替換算調整勘定	6	622
持分法適用会社に対する持分相当額	3	60
その他の包括利益合計	90	934
四半期包括利益	2,142	2,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,047	1,854
少数株主に係る四半期包括利益	94	427

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,356	3,844	22,201	—	22,201
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15	182	198	△198	—
計	18,371	4,027	22,399	△198	22,201
セグメント利益	2,478	270	2,749	48	2,797

(注) 1 セグメント利益の調整額48百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,589	5,029	24,619	—	24,619
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	116	125	△125	—
計	19,598	5,146	24,744	△125	24,619
セグメント利益	1,674	311	1,986	20	2,007

(注) 1 セグメント利益の調整額20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、千代田ビル管財株式会社の全株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は1,582百万円であります。